

これまでのとりくみ

【教育目標】 確かな学力と思いやりの心を持ち、社会に貢献できる生徒の育成

本校は生徒主体の活動を大切にしている学校です。生徒が生徒会活動や行事に主体的に参加し、だれひとり取り残されることなく、多様性が輝く学校を目指しています。

教育目標を達成するための、本年度の取り組みをあげています。

- (1) 確かな学びを育む学校づくり すべての生徒が「わかる・できる」を実感できる魅力ある授業を行います。
- (2) 心の教育の充実 さまざまな人権問題の解決を目指した人権教育や、生徒の豊かな心を育む道徳教育を推進します。
- (3) 特別活動の充実 生徒主体の学級活動や、委員会活動、生徒会活動の活性化を図ります。

教科の結果より

【全国平均と比べ正答率の低かったもの】(本校平均/全国平均)

話合いの話題や展開を理解して、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめること (35.2/44.7)

グラフの傾きや交点の意味を、データをもとに読み取ること (67.2/76.9)

与えられたデータをよみとり最頻値を求めること(67.2/74.3)

【全国平均と比べ正答率の高かったもの】(本校平均/全国平均)

文の成分の順序や対応について理解すること(58.6/53.8)

表現の技法について理解すること(59.4/54.9)

複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較すること(54.7/48.5)

式を目的に応じて変形すること(57.0/52.5)

児童・生徒質問紙より

	本校(%)	全国(%)
普段1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(3時間以上と答えた生徒)	47.7	29.0
1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか(週3以上と答えた生徒)	84.4	64.4
1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。(肯定的な回答をした生徒)	87.5	80.9

全国学力・学習状況調査の結果より

これからのとりくみ

★授業において

毎日の振り返りが徹底されており、それが基本的な学習内容の定着につながっていると考えられるので、毎日の振り返りの実施を続ける。データを扱うことに課題があるため、さまざまな教科でデータを読み取り、活用する場面を設ける。

★生活において

家庭学習の時間がSNSを視聴する時間にさかれているため、デジタルシティズンシップ教育を朝の時間に実施し、生徒たち自身が正しい活用方法、活用時間を決めていけるようにする。